

景況感、高水準を維持も来期は悪化の見通し

香川県内企業経営動向調査（平成 26 年 3 月実施）

概要

今期(平成 26 年 1～3 月期)の業況判断指数 (BSI) は 2.0 となり、前期 (平成 25 年 10～12 月期) 実績の 6.8 から 4.8 ポイント低下したものの、前年同期 (25 年 1～3 月期) 実績の△18.1 は 20.1 ポイント上回る水準である。

項目別の判断指数は全 9 項目のうち、上昇した指数は銀行借入、設備投資の 2 項目で、受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、雇用、採算の 7 項目は低下した。

来期(平成 26 年 4～6 月期)の業況判断指数 (BSI) の見通しは△21.6 となり、今期 (26 年 1～3 月期) 実績の 2.0 から 23.6 ポイント悪化となる見通しである。前年同期 (25 年 4～6 月期) 実績の△9.7 は 11.9 ポイント下回る水準である。

項目別の判断指数は全 9 項目のうち、今期より上昇する見通しの指数は、受注高、生産高、在庫高、雇用の 4 項目、低下は売上高、銀行借入、設備投資、採算の 4 項目、不変は資金繰りの 1 項目である。

概況 今期の香川県内企業の業況判断指数 (BSI) は、前期に比べ低下したものの、消費増税前の駆け込み需要などを背景に、非製造業の業況が高水準で推移したことにより、指数自体は 2 期連続のプラス指数を維持した。

来期は、26 年 4 月からの消費税率引き上げによる需要の反動減への懸念など、景気の先行きについて慎重な見方もあり、指数は再びマイナスに転じる見通しである。

期	平成24年		平成25年			前期	今期	来期				
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成26年 1～3月	4～6月				
製造業	(△ 18.5) (△ 7.8)	(△ 31.5) (△ 2.7)	(△ 2.6) (△ 5.2)	(△ 9.3) (△ 13.3)	△ 24.7	△ 13.7	△ 25.3	△ 7.9	△ 5.2	5.3	△ 12.0	
	(△ 16.5) (△ 28.9)	(△ 18.4) (△ 5.0)	(△ 1.3) (△ 9.2)	(△ 2.7) (△ 29.5)	△ 30.1	△ 21.1	△ 11.3	△ 11.5	△ 5.3	8.2	15.4	
非製造業	(△ 17.5) (△ 18.8)	(△ 24.8) (△ 1.3)	(△ 0.6) (△ 7.2)	(△ 6.1) (△ 21.6)	△ 27.5	△ 17.4	△ 18.1	△ 9.7	△ 5.2	6.8	2.0	
	前年同期比(差異)	△ 10.0	△ 0.4	4.5	9.1	22.3	(△ 24.2)	(△ 20.1)	(△ 11.9)			

B S I : Business Survey Index の略で、企業動向の現状と先行き見通しに対する企業経営者の判断を数字で表したもので、次の算式により求める。

$$B S I = X - Y$$

X : 「好転 (増加)」と回答した企業の割合 (百分率)

Y : 「悪化 (減少)」と回答した企業の割合 (百分率)

※回答は、①好転 (増加)、②不変、③悪化 (減少) から 1 つ選択

(注) 本文中、時期の略記は、それぞれ次の期間を表す。

- ・前期 : 平成 25 年 10～12 月、今期 : 平成 26 年 1～3 月、来期 : 平成 26 年 4～6 月
- ・Ⅰ期 : 1～3 月、Ⅱ期 : 4～6 月、Ⅲ期 : 7～9 月、Ⅳ期 : 10～12 月

I. 項目別 BSI

1. 業界業況判断 BSI

4 期ぶりに低下し、来期も低下の見通し。

<今期実績(平成 26 年 1~3 月期)>

今期の業界業況判断 BSI は、2.0 で、前期 (25 年 10~12 月期) 実績の 6.8 から 4.8 ポイント低下、4 期ぶりに指数が低下したものの、指数自体は 2 期連続のプラス指数を維持した。前年同期 (25 年 1~3 月期) 実績の△18.1 は 20.1 ポイント上回る水準である。

業種別では、製造業が△12.0 となり、前期実績の 5.3 から 17.3 ポイントの低下。製造業全 8 業種のうち、食料品、繊維製品、木材・木製品、その他製造業の 4 業種で指数が低下した。

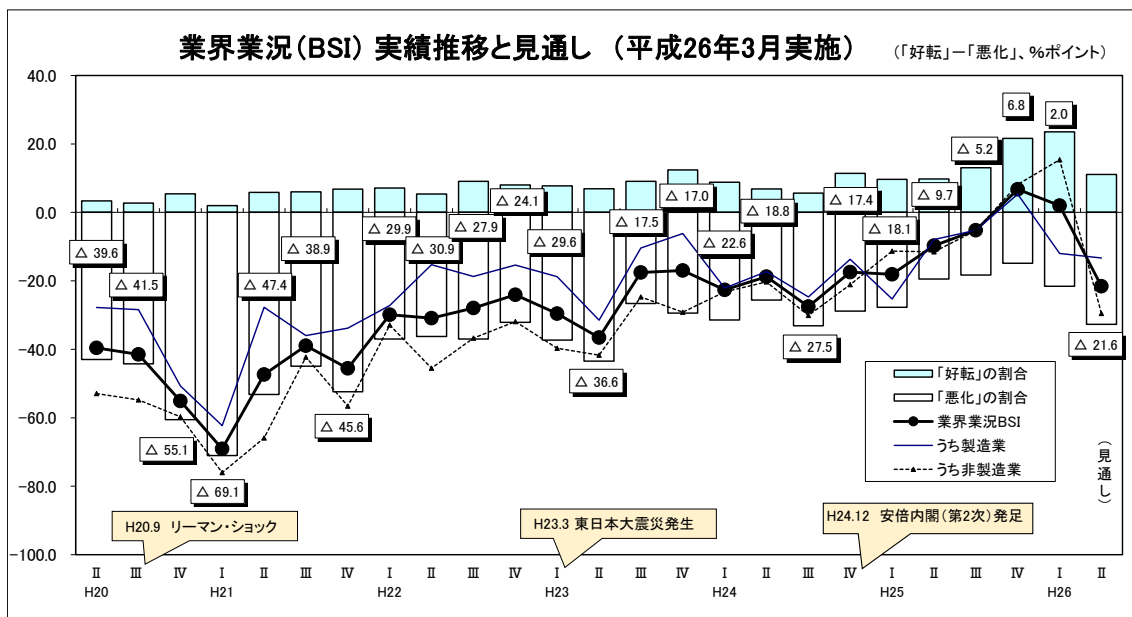
非製造業は前期の 8.2 から今期の 15.4 と 7.2 ポイント上昇した。非製造業全 5 業種のうち、建設業、卸売業、小売業、運輸業の 4 業種で指数が上昇した。

<来期見通し(平成 26 年 4~6 月期)>

来期の業界業況判断見通し BSI は△21.6 で、今期 (26 年 1~3 月期) 実績の 2.0 より 23.6 ポイントの低下の見通しである。前年同期 (25 年 4~6 月期) 実績の△9.7 は 11.9 ポイント下回る水準である。

業種別では、製造業が△13.3 となり、今期実績の△12.0 から 1.3 ポイントの低下の見通し。製造業全 8 業種のうち、金属製品、機械器具、その他製造業の 3 業種で指数が低下する見通しである。

非製造業は△29.5 となり、今期実績の 15.4 から 44.9 ポイントの低下の見通し。非製造業全 5 業種のうち、建設業、卸売業、小売業、運輸業の 4 業種で指数が低下する見通しである。



■ 業界業況判断指数（各期比較）

業 種	実 績 値					増 減			
	今期の前年同期	来期の前年同期	前 期	今 期	来 期	今期(H26.1-3月)		来期(H26.4-6月)	
	(H25.1-3月)	(H25.4-6月)	(H25.10-12月)	(H26.1-3月)	(H26.4-6月)	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
	①	②	③	④	⑤	④-③	④-①	⑤-④	⑤-②
製造業	△ 25.3	△ 7.9	5.3	△ 12.0	△ 13.3	△ 17.3	13.3	△ 1.3	△ 5.4
食料品	△ 27.3	△ 25.0	8.3	△ 53.3	△ 13.3	△ 61.6	△ 26.0	40.0	11.7
繊維製品	△ 40.0	△ 10.0	△ 10.0	△ 44.4	△ 11.1	△ 34.4	△ 4.4	33.3	△ 1.1
木材・木製品	△ 60.0	△ 25.0	25.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 50.0	35.0	0.0	0.0
化学工業・石油製品	△ 28.6	0.0	△ 16.7	0.0	0.0	16.7	28.6	0.0	0.0
金属製品	18.2	0.0	40.0	50.0	30.0	10.0	31.8	△ 20.0	30.0
機械器具	0.0	9.1	0.0	18.2	0.0	18.2	18.2	△ 18.2	△ 9.1
輸送用機械器具	△ 50.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	0.0	30.0	0.0	0.0
その他	△ 43.8	△ 5.9	5.9	△ 12.5	△ 50.0	△ 18.4	31.3	△ 37.5	△ 44.1
非製造業	△ 11.3	△ 11.5	8.2	15.4	△ 29.5	7.2	26.7	△ 44.9	△ 18.0
建設業	26.7	△ 18.2	25.0	35.7	0.0	10.7	9.0	△ 35.7	18.2
卸売業	0.0	△ 17.6	31.3	44.4	△ 27.8	13.1	44.4	△ 72.2	△ 10.2
小売業	△ 25.0	△ 17.4	5.0	30.0	△ 45.0	25.0	55.0	△ 75.0	△ 27.6
運輸業	△ 20.0	△ 12.5	△ 25.0	△ 22.2	△ 44.4	2.8	△ 2.2	△ 22.2	△ 31.9
サービス業 その他	△ 31.6	5.3	△ 5.9	△ 29.4	△ 29.4	△ 23.5	2.2	0.0	△ 34.7
合 計	△ 18.1	△ 9.7	6.8	2.0	△ 21.6	△ 4.8	20.1	△ 23.6	△ 11.9

2. 受注高判断 BSI

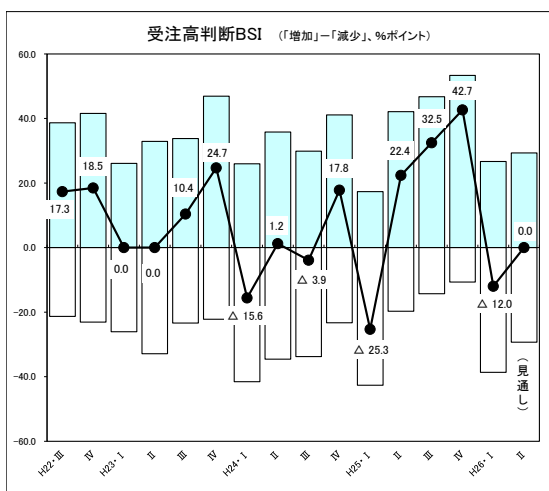
4期ぶりの低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成26年1～3月期)＞

今期の受注高 BSI は△12.0 で前期実績 42.7 を 54.7 ポイント下回った。前年同期実績の△25.3 は 13.3 ポイント上回る水準である。指数自体は 4 期ぶりのマイナス指数。

＜来期見通し(平成26年4～6月期)＞

来期の受注高見通し BSI は 0.0 で今期実績の△12.0 から 12.0 ポイントの上昇の見通しも、前年同期実績の 22.4 は 22.4 ポイント下回る水準である。



業 種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 54.7	13.3	12.0	△ 22.4
食料品	△ 123.3	△ 9.7	93.3	△ 13.3
繊維製品	△ 30.0	△ 20.0	11.1	△ 38.9
木材・木製品	△ 100.0	55.0	25.0	△ 50.0
化学工業・石油製品	△ 56.7	△ 11.4	0.0	△ 90.0
金属製品	△ 10.0	40.0	△ 50.0	△ 28.2
機械器具	△ 9.1	0.0	△ 9.1	0.0
輸送用機械器具	0.0	90.0	△ 20.0	△ 20.0
その他	△ 71.0	31.2	0.0	△ 6.3
合 計	△ 54.7	13.3	12.0	△ 22.4

(注) 非製造業は調査対象外

3. 生産高判断 BSI

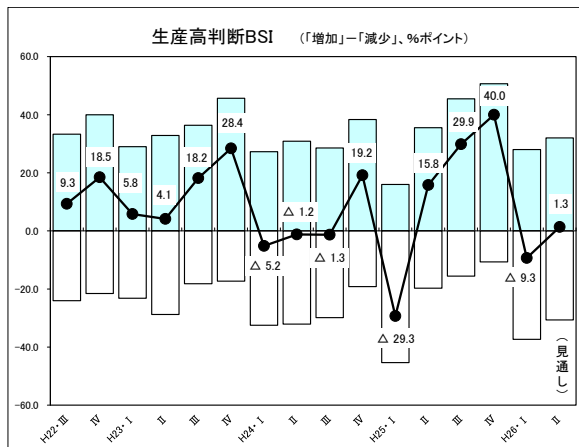
4期ぶりの低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 1～3 月期)＞

今期の生産高 BSI は $\Delta 9.3$ で、前期実績 40.0 を 49.3 ポイント下回った。前年同期実績 $\Delta 29.3$ は 20.0 ポイント上回る水準である。指数自体は 4 期ぶりのマイナス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 4～6 月期)＞

来期の生産高見通し BSI は 1.3 で今期実績 $\Delta 9.3$ を 10.6 ポイント上回る見通しである。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	$\Delta 49.3$	20.0	10.6	$\Delta 14.5$
食料品	$\Delta 110.0$	3.6	80.0	$\Delta 5.0$
繊維製品	$\Delta 63.3$	$\Delta 13.3$	44.4	$\Delta 28.9$
木材・木製品	$\Delta 100.0$	55.0	50.0	$\Delta 50.0$
化学工業・石油製品	$\Delta 56.7$	$\Delta 11.4$	0.0	$\Delta 73.3$
金属製品	$\Delta 10.0$	30.9	$\Delta 30.0$	$\Delta 8.2$
機械器具	0.0	18.2	$\Delta 27.3$	0.0
輸送用機械器具	0.0	45.0	20.0	40.0
その他	$\Delta 46.3$	50.0	$\Delta 31.3$	$\Delta 18.8$
合計	$\Delta 49.3$	20.0	10.6	$\Delta 14.5$

(注)非製造業は調査対象外

【売上高の増加・減少要因】

「売上高増加要因」の1位は「季節的な需要増加」の44.1%、次いで「景気動向」と消費増税前の駆け込み需要などの「その他」が17.6%。「減少要因」は1位が「季節的な需要減少」の66.1%、次いで「その他」の16.1%となっている。

4. 売上高判断 BSI

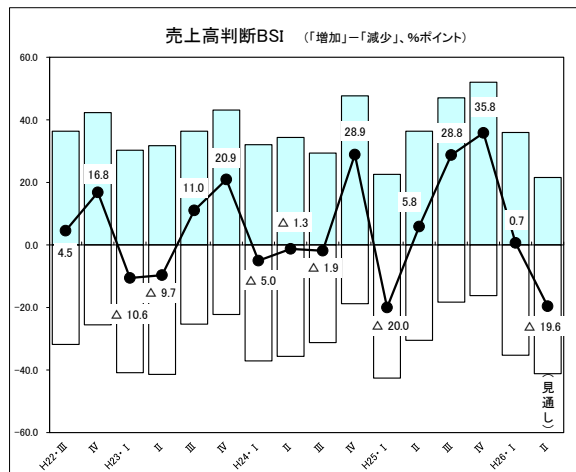
4期ぶりに低下し、来期も低下の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 1～3 月期)＞

今期の売上高 BSI は、製造業 $\Delta 12.0$ 、非製造業 12.8、全産業で 0.7 となり、前期実績を 35.1 ポイント下回った。前年同期実績は 20.7 ポイント上回る水準。指数自体は 4 期連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 4～6 月期)＞

来期の売上高見通し BSI は、製造業 $\Delta 5.3$ 、非製造業 $\Delta 33.3$ 、全産業で $\Delta 19.6$ となり、今期実績 0.7 を 20.3 ポイント下回り、指数自体も 5 期ぶりのマイナス指数となる見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	$\Delta 56.0$	21.3	6.7	$\Delta 21.1$
食料品	$\Delta 131.6$	17.6	86.6	$\Delta 28.4$
繊維製品	$\Delta 114.4$	$\Delta 14.4$	44.4	$\Delta 50.0$
木材・木製品	$\Delta 100.0$	75.0	25.0	$\Delta 50.0$
化学工業・石油製品	$\Delta 56.7$	$\Delta 11.4$	0.0	$\Delta 90.0$
金属製品	$\Delta 10.0$	30.9	$\Delta 40.0$	$\Delta 9.1$
機械器具	45.5	9.1	$\Delta 72.8$	9.1
輸送用機械器具	0.0	50.0	40.0	20.0
その他	$\Delta 58.4$	50.1	$\Delta 18.8$	$\Delta 12.5$
非製造業	$\Delta 14.6$	20.3	$\Delta 46.1$	$\Delta 29.5$
建設業	33.3	3.3	$\Delta 78.6$	$\Delta 10.4$
卸売業	$\Delta 51.4$	23.6	$\Delta 33.3$	$\Delta 34.0$
小売業	$\Delta 25.0$	40.0	$\Delta 75.0$	$\Delta 19.6$
運輸業	25.0	30.0	$\Delta 33.3$	$\Delta 8.3$
サービス業 その他	$\Delta 23.5$	2.8	$\Delta 5.9$	$\Delta 61.0$
合計	$\Delta 35.1$	20.7	$\Delta 20.3$	$\Delta 25.4$

5. 在庫高判断 BSI

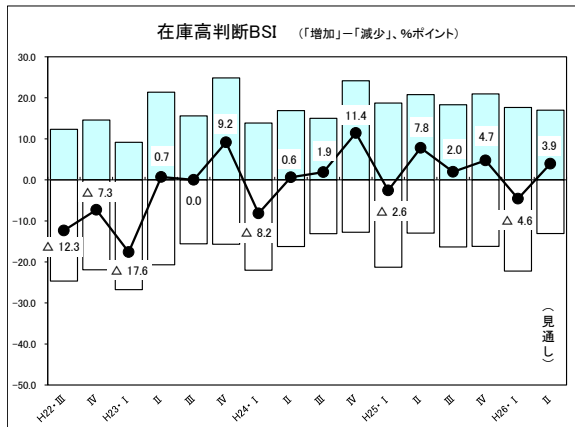
2期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 1～3 月期)＞

今期の在庫高 BSI は、製造業 5.3、非製造業△14.1、全産業で△4.6 となり、前期実績の 4.7 を 9.3 ポイント下回った。前年同期実績は 2.0 ポイント下回る水準。指数自体は 4 期ぶりのマイナス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 4～6 月期)＞

来期の在庫高見通し BSI は、製造業が 8.0、非製造業は 0.0、全産業では 3.9 となり、今期実績を 8.5 ポイント上回り、指数自体も 2 期ぶりのプラス指数となる見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	0.0	8.0	2.7	2.7
食料品	15.0	6.7	△ 6.7	16.7
繊維製品	21.1	1.1	22.2	△ 6.7
木材・木製品	0.0	100.0	0.0	0.0
化学工業・石油製品	3.3	△ 8.6	△ 20.0	0.0
金属製品	20.0	49.1	△ 10.0	20.9
機械器具	△ 63.7	△ 36.4	54.6	18.2
輸送用機械器具	20.0	20.0	△ 20.0	△ 20.0
その他	0.4	△ 6.2	△ 12.6	△ 12.2
非製造業	△ 18.2	△ 11.6	14.1	△ 10.3
建設業	△ 16.7	△ 13.3	0.0	△ 9.1
卸売業	1.4	1.4	16.7	△ 29.7
小売業	△ 50.0	△ 25.0	15.0	△ 10.7
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業 その他	△ 11.7	△ 12.3	29.4	1.3
合計	△ 9.3	△ 2.0	8.5	△ 3.9

6. 資金繰り判断 BSI

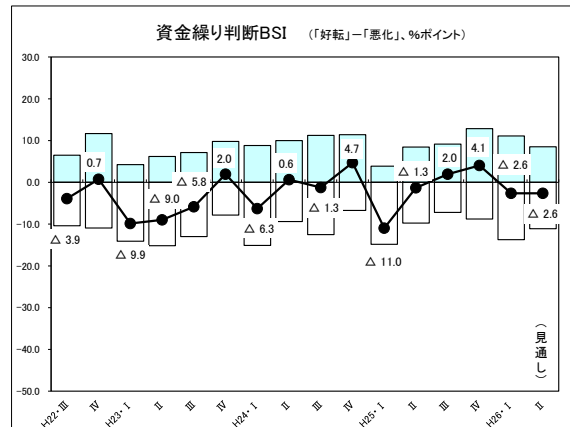
4期ぶりに低下し、来期は不変の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 1～3 月期)＞

今期の資金繰り BSI は、製造業が△2.7、非製造業が△2.6、全産業では△2.6 となり、前期実績を 6.7 ポイント下回った。前年同期実績は 8.4 ポイント上回る水準。指数自体は 3 期ぶりのマイナス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 4～6 月期)＞

来期の資金繰り見通し BSI は、製造業が△5.3、非製造業が 0.0、全産業では△2.6 となり、今期実績の△2.6 と不変で、指数自体も 2 期連続のマイナス指数となる見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	△ 6.7	8.0	△ 2.6	△ 2.7
食料品	△ 5.0	14.0	6.6	10.0
繊維製品	△ 32.2	△ 12.2	△ 11.1	△ 23.3
木材・木製品	△ 50.0	15.0	25.0	50.0
化学工業・石油製品	36.7	20.0	△ 20.0	0.0
金属製品	0.0	38.2	△ 10.0	19.1
機械器具	△ 9.1	0.0	9.1	0.0
輸送用機械器具	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	△ 12.5	△ 30.1
非製造業	△ 6.7	8.7	2.6	0.0
建設業	7.1	0.4	21.5	19.5
卸売業	△ 6.9	11.9	△ 5.6	△ 11.8
小売業	5.0	25.0	△ 20.0	6.7
運輸業	0.0	0.0	△ 11.1	△ 11.1
サービス業 その他	△ 35.3	△ 3.1	29.4	△ 10.5
合計	△ 6.7	8.4	0.0	△ 1.3

7. 銀行借入判断 BSI

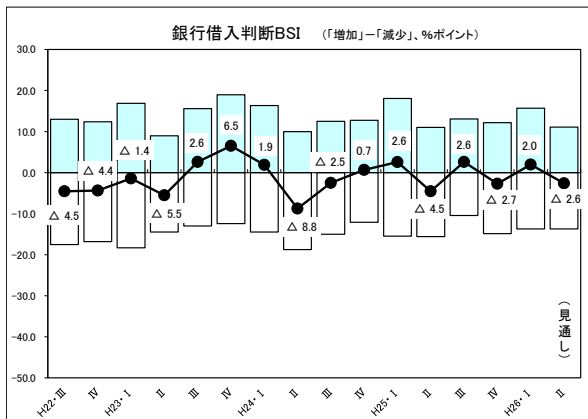
2 期ぶりに上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 1～3 月期)＞

今期の銀行借入 BSI は、製造業が 2.7、非製造業が 1.3、全産業では 2.0 となり、前期実績を 4.7 ポイント上回った。前年同期実績は 0.6 ポイント下回る水準。指数自体は 2 期ぶりのプラス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 4～6 月期)＞

来期の銀行借入の見通し BSI は、製造業が 0.0、非製造業が△5.1、全産業では△2.6 となり、今期実績を 4.6 ポイント下回り、指数自体は 2 期ぶりのマイナス指数となる見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	1.4	△ 1.3	△ 2.7	0.0
食料品	△ 28.3	△ 20.0	20.0	△ 8.3
繊維製品	△ 20.0	0.0	33.3	3.3
木材・木製品	25.0	△ 15.0	△ 25.0	△ 25.0
化学工業・石油製品	20.0	20.0	△ 40.0	△ 3.3
金属製品	30.0	10.9	△ 20.0	18.2
機械器具	0.0	9.1	△ 9.1	△ 9.1
輸送用機械器具	△ 20.0	5.0	0.0	0.0
その他	18.4	0.0	△ 12.5	5.9
非製造業	8.1	0.0	△ 6.4	3.9
建設業	△ 2.4	7.6	△ 21.4	△ 7.1
卸売業	35.5	23.0	△ 11.1	11.5
小売業	10.0	△ 5.0	0.0	4.3
運輸業	△ 33.3	△ 23.3	22.2	1.4
サービス業 その他	5.9	△ 11.2	△ 11.7	3.5
合計	4.7	△ 0.6	△ 4.6	1.9

8. 設備投資判断 BSI

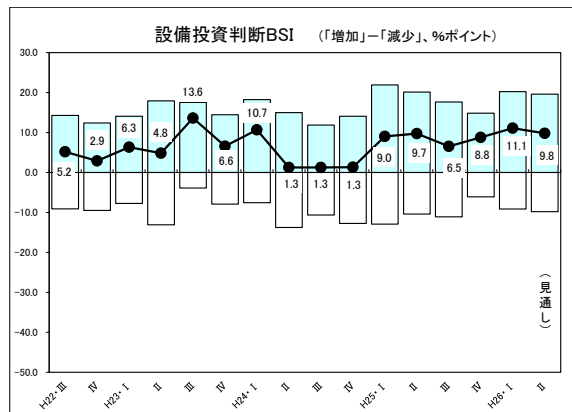
2 期連続の上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 26 年 1～3 月期)＞

今期の設備投資 BSI は、製造業が 21.3、非製造業が 1.3、全産業では 11.1 となり、前期実績を 2.3 ポイント上回った。前年同期実績は 2.1 ポイント上回る水準。指数自体は 15 期連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 4～6 月期)＞

来期の設備投資の見通し BSI は、製造業が 13.3、非製造業が 6.4、全産業では 9.8 となり、今期実績を 1.3 ポイント下回る見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	9.3	18.6	△ 8.0	△ 2.5
食料品	13.3	31.5	26.7	40.0
繊維製品	22.2	22.2	△ 22.2	△ 20.0
木材・木製品	△ 25.0	15.0	50.0	25.0
化学工業・石油製品	△ 13.3	20.0	△ 40.0	△ 20.0
金属製品	30.0	22.7	△ 30.0	△ 16.4
機械器具	△ 9.1	9.1	0.0	9.1
輸送用機械器具	0.0	△ 5.0	△ 20.0	△ 60.0
その他	19.1	18.7	△ 25.0	△ 11.8
非製造業	△ 4.2	△ 13.7	5.1	2.6
建設業	14.3	14.3	△ 7.2	△ 11.1
卸売業	△ 13.2	△ 25.7	22.2	27.8
小売業	0.0	0.0	0.0	△ 7.4
運輸業	13.9	△ 31.1	△ 22.2	4.2
サービス業 その他	△ 23.5	△ 33.4	17.6	0.0
合計	2.3	2.1	△ 1.3	0.1

【設備投資目的】

1 位「維持更新」49.5%、2 位「能力増強」18.3%、
3 位「合理化・省力・省エネ・技術開発」14.0%、
4 位「新製品・新規事業」12.9%。

9. 雇用状況判断 BSI

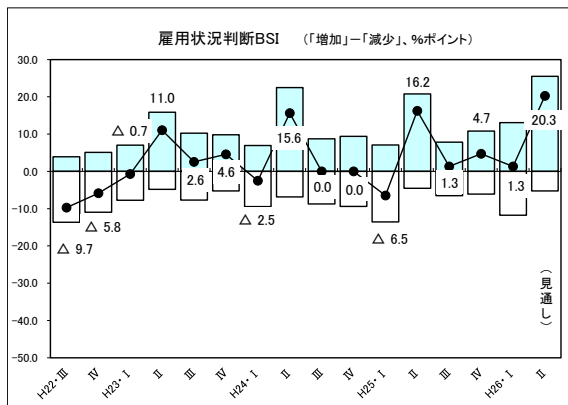
2 期ぶりの低下も、来期は上昇の見通し。

< 今期実績 (平成 26 年 1~3 月期) >

今期の雇用状況 BSI は、製造業が 5.3、非製造業が $\Delta 2.6$ 、全産業では 1.3 となり、前期実績を 3.4 ポイント下回った。前年同期実績は 7.8 ポイント上回る水準。指数自体は 4 期連続のプラス指数。

< 来期見通し (平成 26 年 4~6 月期) >

来期の雇用状況見通し BSI は、製造業が 22.7、非製造業が 17.9、全産業では 20.3 となり、今期実績を 19.0 ポイント上回り、指数自体も 5 期連続のプラス指数となる見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	0.0	9.3	17.4	1.6
食料品	$\Delta 35.0$	18.8	40.0	30.0
繊維製品	22.2	2.2	0.0	$\Delta 17.8$
木材・木製品	$\Delta 50.0$	$\Delta 5.0$	25.0	0.0
化学工業・石油製品	36.7	20.0	$\Delta 40.0$	$\Delta 36.7$
金属製品	0.0	$\Delta 16.4$	30.0	4.5
機械器具	18.2	9.1	18.2	18.2
輸送用機械器具	0.0	25.0	40.0	0.0
その他	6.6	31.3	6.3	$\Delta 4.7$
非製造業	$\Delta 6.7$	6.2	20.5	6.4
建設業	$\Delta 17.9$	13.8	21.5	10.4
卸売業	11.9	5.6	27.7	21.5
小売業	$\Delta 25.0$	$\Delta 5.0$	20.0	$\Delta 3.0$
運輸業	0.0	10.0	0.0	12.5
サービス業 その他	0.0	9.3	23.6	$\Delta 4.0$
合計	$\Delta 3.4$	7.8	19.0	4.1

10. 採算判断 BSI

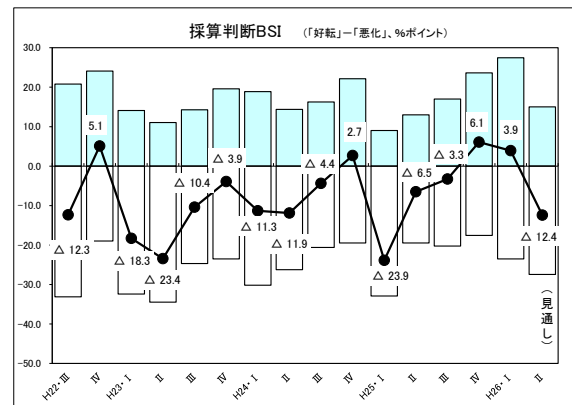
4 期ぶりに低下し、来期も低下の見通し。

< 今期実績 (平成 26 年 1~3 月期) >

今期の採算 BSI は製造業が $\Delta 10.7$ 、非製造業が 17.9、全産業では 3.9 となり、前期実績を 2.2 ポイント下回った。前年同期実績は 27.8 ポイント上回る水準。指数自体は 2 期連続のプラス指数。

< 来期見通し (平成 26 年 4~6 月期) >

来期の採算見通し BSI は、製造業が $\Delta 5.3$ 、非製造業が $\Delta 19.2$ 、全産業では $\Delta 12.4$ となり、今期実績を 16.3 ポイント下回り、指数自体も 3 期ぶりのマイナス指数となる見通し。



業種	今期実績		来期見通し	
	前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
製造業	$\Delta 16.0$	21.3	5.4	$\Delta 4.0$
食料品	$\Delta 56.7$	41.8	40.0	8.3
繊維製品	$\Delta 23.3$	$\Delta 3.3$	55.5	22.2
木材・木製品	$\Delta 75.0$	30.0	25.0	0.0
化学工業・石油製品	$\Delta 10.0$	$\Delta 31.4$	60.0	$\Delta 16.7$
金属製品	30.0	68.2	$\Delta 40.0$	19.1
機械器具	18.2	27.3	$\Delta 9.1$	9.1
輸送用機械器具	20.0	50.0	$\Delta 20.0$	0.0
その他	$\Delta 30.1$	0.0	$\Delta 31.3$	$\Delta 49.7$
非製造業	11.1	34.2	$\Delta 37.1$	$\Delta 7.7$
建設業	53.6	35.3	$\Delta 42.9$	3.9
卸売業	2.0	39.6	$\Delta 27.7$	17.4
小売業	15.0	40.0	$\Delta 90.0$	$\Delta 15.2$
運輸業	13.9	28.9	$\Delta 33.3$	$\Delta 19.4$
サービス業 その他	$\Delta 17.6$	19.2	17.6	$\Delta 26.3$
合計	$\Delta 2.2$	27.8	$\Delta 16.3$	$\Delta 5.9$

(集計結果)

項目別BSIの全集計結果

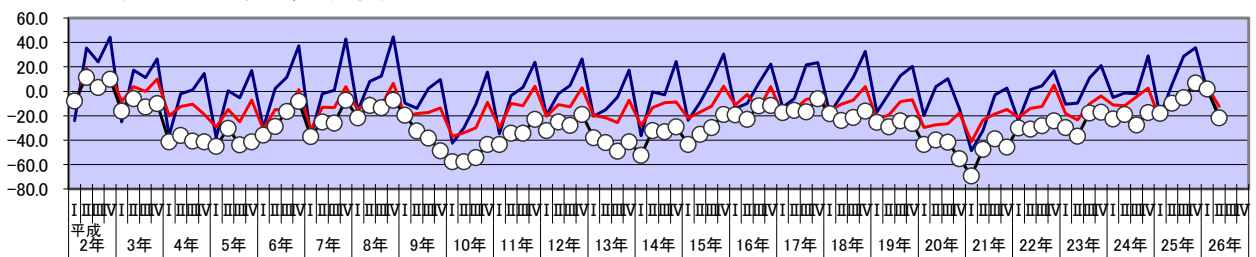
■今期(平成26年1~3月期) 企業経営動向実績(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇用	採算	業界業況
製造業	△ 12.0	△ 9.3	△ 12.0	5.3	△ 2.7	2.7	21.3	5.3	△ 10.7	△ 12.0
1. 食料品	△ 73.3	△ 60.0	△ 73.3	6.7	△ 13.3	△ 20.0	13.3	△ 26.7	△ 40.0	△ 53.3
2. 繊維製品	0.0	△ 33.3	△ 44.4	11.1	△ 22.2	0.0	22.2	22.2	△ 33.3	△ 44.4
3. 木材・木製品	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0	0.0	△ 25.0	25.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 50.0	△ 25.0
4. 化学工業・石油製品	△ 40.0	△ 40.0	△ 40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	△ 60.0	0.0
5. 金属製品	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	50.0	20.0	50.0	50.0
6. 機械器具	0.0	9.1	36.4	△ 45.5	0.0	0.0	18.2	18.2	27.3	18.2
7. 輸送用機械器具	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	△ 20.0	20.0	0.0	0.0	△ 20.0
8. その他	△ 6.3	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5	25.0	12.5	△ 12.5	△ 12.5
うち 紙・紙製品	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 50.0	0.0	0.0	0.0	△ 50.0	△ 50.0
うち 窯業・土石製品	△ 50.0	0.0	△ 50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	△ 50.0	△ 50.0
非製造業	-	-	12.8	△ 14.1	△ 2.6	1.3	1.3	△ 2.6	17.9	15.4
9. 建設業	-	-	50.0	0.0	7.1	14.3	14.3	7.1	28.6	35.7
[卸・小売業 計]	-	-	18.4	△ 21.1	5.3	7.9	7.9	△ 2.6	36.8	36.8
10. 卸売業	-	-	11.1	△ 11.1	5.6	16.7	5.6	5.6	33.3	44.4
11. 小売業	-	-	25.0	△ 30.0	5.0	0.0	10.0	△ 10.0	40.0	30.0
12. 運輸業	-	-	0.0	0.0	0.0	△ 33.3	△ 11.1	0.0	△ 11.1	△ 22.2
13. サービス業 その他	-	-	△ 23.5	△ 17.6	△ 29.4	△ 5.9	△ 17.6	△ 11.8	△ 17.6	△ 29.4
合計	△ 12.0	△ 9.3	0.7	△ 4.6	△ 2.6	2.0	11.1	1.3	3.9	2.0

■来期(平成26年4~6月期) 企業経営動向見通し(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇用	採算	業界業況
製造業	0.0	1.3	△ 5.3	8.0	△ 5.3	0.0	13.3	22.7	△ 5.3	△ 13.3
1. 食料品	20.0	20.0	13.3	0.0	△ 6.7	0.0	40.0	13.3	0.0	△ 13.3
2. 繊維製品	11.1	11.1	0.0	33.3	△ 33.3	33.3	0.0	22.2	22.2	△ 11.1
3. 木材・木製品	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	△ 25.0	△ 25.0
4. 化学工業・石油製品	△ 40.0	△ 40.0	△ 40.0	0.0	0.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	0.0	0.0
5. 金属製品	△ 10.0	10.0	0.0	30.0	10.0	0.0	20.0	50.0	10.0	30.0
6. 機械器具	△ 9.1	△ 18.2	△ 36.4	9.1	9.1	△ 9.1	18.2	36.4	18.2	0.0
7. 輸送用機械器具	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	△ 20.0	0.0	40.0	△ 20.0	△ 20.0
8. その他	△ 6.3	△ 18.8	△ 12.5	△ 6.3	△ 12.5	0.0	0.0	18.8	△ 43.8	△ 50.0
うち 紙・紙製品	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 50.0	0.0	0.0	0.0	△ 50.0	△ 50.0
うち 窯業・土石製品	0.0	0.0	0.0	50.0	△ 50.0	50.0	0.0	50.0	△ 100.0	△ 50.0
非製造業	-	-	△ 33.3	0.0	0.0	△ 5.1	6.4	17.9	△ 19.2	△ 29.5
9. 建設業	-	-	△ 28.6	0.0	28.6	△ 7.1	7.1	28.6	△ 14.3	0.0
[卸・小売業 計]	-	-	△ 36.8	△ 5.3	△ 7.9	2.6	18.4	21.1	△ 23.7	△ 36.8
10. 卸売業	-	-	△ 22.2	5.6	0.0	5.6	27.8	33.3	5.6	△ 27.8
11. 小売業	-	-	△ 50.0	△ 15.0	△ 15.0	0.0	10.0	10.0	△ 50.0	△ 45.0
12. 運輸業	-	-	△ 33.3	0.0	△ 11.1	△ 11.1	△ 33.3	0.0	△ 44.4	△ 44.4
13. サービス業 その他	-	-	△ 29.4	11.8	0.0	△ 17.6	0.0	11.8	0.0	△ 29.4
合計	0.0	1.3	△ 19.6	3.9	△ 2.6	△ 2.6	9.8	20.3	△ 12.4	△ 21.6

■主要判断指数の長期推移



(注)26年Ⅱは見通し

— 売上高判断 — 採算判断 —○— 業界業況判断

II. 経営上の問題点

1位は「原材料（仕入）高」（21.7%）、2位は「過当競争」（15.7%）、3位は「販売（受注）不振」（14.5%）、4位は「設備老朽化」と「求人難」（11.9%）、6位は「製品（販売）安」（10.7%）であった。

円安などを背景とする原材料高の影響で「原材料（仕入）高」を経営上の問題点としてあげる企業の割合は高く、5期連続の1位となった。

「経営上の問題点」の推移

順位	平成25年/4～6月期		平成25年/7～9月期		平成25年/10～12月期		平成26年/1～3月期	
	項目	構成比	項目	構成比	項目	構成比	項目	構成比
1	原材料（仕入）高	20.4%	原材料（仕入）高	24.3%	原材料（仕入）高	22.8%	原材料（仕入）高	21.7%
2	過当競争	17.9%	過当競争	17.8%	過当競争	18.3%	過当競争	15.7%
3	販売（受注）不振	17.3%	販売（受注）不振	14.0%	販売（受注）不振	12.2%	販売（受注）不振	14.5%
4	設備老朽化	12.9%	製品（販売）安	12.8%	製品（販売）安	11.9%	設備老朽化	11.9%
5	製品（販売）安	12.3%	設備老朽化	11.5%	設備老朽化	10.9%	求人難	11.9%
6	求人難	6.6%	求人難	8.7%	求人難	10.9%	製品（販売）安	10.7%
7	賃金上昇	3.5%	賃金上昇	2.5%	賃金上昇	5.8%	賃金上昇	5.3%
8	設備不足	2.2%	その他	2.2%	設備不足	1.6%	その他	3.1%
9	金利負担増	1.6%	金利負担増	1.6%	環境対応	1.3%	金利負担増	1.9%
10	その他	1.6%	設備過剰	1.2%	その他	1.3%	設備不足	1.3%
11	環境対応	1.3%	設備不足	1.2%	金利負担増	1.0%	環境対応	0.9%
12	回収条件の悪化	0.9%	環境対応	0.9%	回収条件の悪化	0.6%	回収条件の悪化	0.3%
13	借入れ難	0.9%	回収条件の悪化	0.6%	借入れ難	0.6%	借入れ難	0.3%
14	設備過剰	0.6%	借入れ難	0.6%	設備過剰	0.6%	設備過剰	0.3%

業種別回答数及び構成比

企業経営動向調査概要	
① 調査時期：	平成26年3月7日～4月3日 (毎年3・6・9・12月実施)
② 調査事項：	受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算、業界業況の各項目別BSI、売上高の増加・減少要因、設備投資目的、経営上の問題点
③ 調査方法：	景況感についての調査 前期（平成25年10～12月）と比較した今期（平成26年1～3月）の実績及び今期（平成26年1～3月）と比較した来期（平成26年4～6月）の見通しを調査。
④ 調査対象：	県内に本社または主工場を持つ主要企業253社
⑤ 有効回答率：	60.5%（有効回答数153社）

業種	回答社数	構成比
製造業	75	49.0%
食料品	15	9.8%
繊維製品	9	5.9%
木材・木製品	4	2.6%
化学工業・石油製品	5	3.3%
金属製品	10	6.5%
機械器具	11	7.2%
輸送用機械器具	5	3.3%
その他	16	10.5%
非製造業	78	51.0%
建設業	14	9.2%
卸売業	18	11.8%
小売業	20	13.1%
運輸業	9	5.9%
サービス業 その他	17	11.1%
合計	153	100.0%

(H26.4.21 主任研究員 高木俊裕)